

● 京田辺市民文化祭 11月3・4日 中央体育館 中聖牛の取組で展示参加

2日間とも、温かく参加者の皆さんも気持ちよく来られていたのではないのでしょうか。初日に用意した模擬店の里山農園栽培のキクナなどの野菜物はあっという間に完売となりました。これまで自慢としてきた鹿背山の柿は青木さんの高齢化によって、手入れが十分ではなかったのも、見栄えは2級品でしたが、これも瞬く間に売り切れとなりました。農産物は凄い人気がありました。

あとは手持ち無沙汰になってしまいました。自分で作る綿菓子も調子が悪く1時間遅れの稼働となりました。今回の模擬店の場所はこれまでになく人通りの多い、人の目につく場所だったので、1時間も遅れましたが、例年通りの売上額に到達しました。途切れることなく順調な人ばかりが続きました。「商売は何よりも場所が大切」とはよく言ったもので、場所がよかったのでアクシデントを克服できました。

2日目の松かさツリーづくりも順調で、しっかりお客さんが集中していました。展示コーナーでは、今年のこの時期には、台風の来襲で中聖牛の設置が未完成でしたので、蛇籠も展示できませんでした。しかし今年は直前の1日に竹蛇籠が30基完成できたので、現物（直径45センチで長さが4メートル、3個）を持ち込んで展示しました。日本全国では一部製作がされているようですが、今回本格的に竹の切り出しテストから作り上げた素人集団は見られないのではないかと思います。里山の会が4年間・3回目の挑戦で素晴らしい完成品をつくり上げられました。来場者のうち比較的高齢の男性は、大きな関心をお持ちの様子で、ガイドする会話が弾みました。これだけのものを製作することは大変な作業だと感想を頂きました。展示ポスターも丁寧な解説でしたが、現物の迫力に圧倒されていました。里山の会では、これだけの作品を制作する機会はないのではないかと思います。伝統工法である大型の竹細工の見納めではないかと考えると、解説に力が入りました。

新レンジャーに就任された大釜さんは、終日立ちっぱなしで来場者の相手をされて、学校時代とは一味違うので、大へん疲れた様子でした。会員の方々にスタッフとしてご協力を強く呼びかけましたので、延べ31人のご協力をいただきました。綿菓子は連続する客足があって、休む間もない作業をこなしていただきました。大変お疲れだったと思います。松かさツリーも次から次へと来られるので、満席にはなりませんでした。休憩もままならないようでした。皆さん本当によく頑張ってくださいました。

●竹蛇籠の製作 11月1日に30基完成 延べ参加人数202人の協力

8月の終わりに淡竹で製作できないものかと幾度も試みましたが、9月になっても、あきらめずに淡竹での制作に挑戦しました。なんとかしたいものと思いましたが、底辺の曲げのところで、強い力が必要で、うまく対応できず、かなり折れてしまいました。工夫と知恵を使いましたが、真竹によるものこそが形になりました。材料は真竹だとの決定に相当時間がかかりました。

10月6・7日の両日を製作講習会として取り組みました。40人の皆さんが集まって11本が完成できました。それ以後、急ピッチで蛇籠づくりが続きました。10月31日の20日間にモデルとして使用する3本を含めて30本が完成できました。

多くの皆さんの参加を受けて講習会と普及を考えましたが、今年は作り上げることに重点を置きました。普及に力点を置くと、私たちの技術力では、なかなかアップしないと判断して、苦しかったです。有志の皆さん・里山の会が中心に取り組みました。出来栄は去年の作品よりも数段見事なものになりました。「習うよりも慣れろ」と言われるように随分と回数が多くなりましたので工夫を重ねられました。数人の皆さんがリーダーになって取り組むことができるようになったのではないかと思います。ご苦勞頂きました皆さん、この機会に獲得した技術力を忘れないようお願いいたします。次回にはきっとこの苦勞が実を結ぶことになると思います。近いうちにこの経験を活かして、手ほどきができる映像を作り上げたいと思います。

●県外研修会を（11月20日）実施 兵庫県豊岡市のコウノトリ公園を訪ねます。午前中の予定は 円山川の自然再生事業の視察 午後はコウノトリ公園や豊岡市のコウノトリにかかわる取組視察 里山の会と同じ河川協力団体も訪ねます。フジバカマの保全維持管理の地元団体との学習会も予定しています ぜ

ひ参加ください。朝は少し早目に出発します 募集人数は45名としています。現在20名の応募があります。急いで申し込んで下さいね 住所氏名をご記入下さい。

メールまたはファックスで fddb257@ybb.ne.jp または fax0774-64-4183 まで

●ふれあい土木展 9・10日に竹蛇籠の展示発表を実施

国土交通省の技術研究所(枚方市)の主催で毎年開かれてきました。これまで河川レンジャーは主に防災面から土嚢づくりなどについて発表体験を受け持ってきています。今年は里山の会とレンジャーや学生レンジャーの若手の方々との竹蛇籠製作を行ってきました。立派な作品が出来てきましたので、ぜひ竹蛇籠を見ていただきたいと展示説明をします。ぜひ多くのご観覧をお願いします。

●里山農園「白土山洞窟ルート」完成式

里山農園を復興復元する取り組みを始めたころから、農園の奥に白土山があって、それ(磨き砂)を取り出して販売していたと聞いていました。その残骸の洞穴が存在するともお聞きしました。やっと、その洞穴を発見し、ルートを作り上げることができました。今回11月17日に、この洞穴へのルートご案内させていただきます。普賢寺地域には、こうした白土山と呼ばれてきた場所が数か所存在しています。また精華町にもあることがわかりました。ぜひ古くからの郷土の歴史遺産を訪ねてください。お越しをお待ちしています。プログラムは次の通りです。

17日午前10時50分完成式 11時お茶会 11時30分洞穴ルート探検へ出発 12時30分昼食

13時30分教育棟の掲示板披露解説 14時20分里山農園冬野菜間引き体験

15時閉会式 後片付け 解散 持ち物は弁当をご持参ください。しっかりした靴をご用意ください。

●里山農園 掲示板の設置完成 有田氏播川氏の取り付け作業完了

普賢寺の谷間は、京田辺市の自然の宝庫と言っても言い過ぎでないほど素晴らしい自然を残しています。国蝶オオムラサキの生育が確認できています。絶滅危惧種寸前種とされているカスミサンショウウオも生息しています。もちろんオオタカやノスリも飛翔しています。ウグイスも囀り続けます。数えきれないレッドデータ掲載植物が見つかります。この資料を展示して豊かさを実感していただきたいと里山の会は考え、展示場も作りました。今回は、洞穴への案内と掲示板の完成を披露いたします。

ご苦労頂いた有田さん達のご苦労を祝ってください。お越しをお待ちしています。

駐車場はありますので、気楽に来てください。

●木津川希少種植生調査管理業務 除草作業日程案を発表

約2,800平方メートルの雑草を刈り取ります。お手伝いにお越しく下さい。木津川の希少植物の保全を目指して草刈りを行います 除草の主力は自走式の草刈り機ハンマーモアを使つての草刈です。

* 除草作業予定日は、11月9日PM 16日PM 17日AMPM 18日AMPM 20日AMPM 23日AMPM
24日AMPM 25日AMPM

* 刈草の集積収集作業 運び出し 12月2日AM 3日AM 5日AM 8日AM 10日AM 14日AM 16日AM
お越したただける皆さんはFAXで希望日をご連絡ください、

FAXで詳細をご案内いたします。 0774-64-4183 まで

●我が里山の会員の田中元博さんが10月5日の京都新聞で大きく紹介されました ご覧になってください